

薬剤師の採用状況等に係る調査結果について（令和4年10月実施）

令和5年3月
医療・保険課

県内の薬剤師の採用状況、需要動向等を把握するため、病院・薬局を対象にアンケート調査を実施しましたので結果の概要を報告します。

1 調査基準日等

調査基準日：令和4年9月1日 調査対象：43病院、277薬局 回答率：60%（病院：70%、薬局：58%）

2 今回の調査結果

(1) 令和4年度の薬剤師採用実績（令和4年4月1日～9月1日）

新たに薬剤師（パート等を含む。）を採用した病院・薬局の状況は次のとおりであり、採用人数は引き続き増加傾向にある。

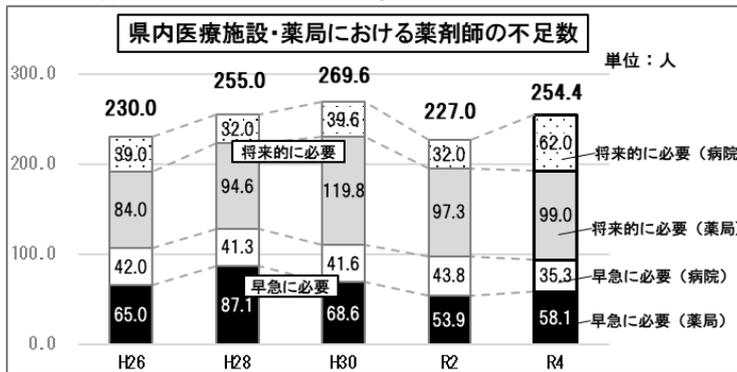
	H28 調査	H30 調査	前回 (R2) 調査	今回 (R4) 調査
採用施設数	39 施設	40 施設	50 施設	46 施設
採用人数	46.4 人	47.9 人	54.3 人	62.0 人
うち新規免許取得者	29.0 人	28.0 人	34.8 人	31.8 人

※常勤換算後の人数

(2) 薬剤師の需要

全体の必要数は増加（+27.4人）しており、依然として薬剤師の需要が高い状況である。

必要数を項目ごとに見ると、「早急に必要薬剤師数」は前回より若干減少（△4.3人）していることから、薬剤師不足の逼迫した状況はやや改善傾向にあると考えられるが、一方で「将来的に必要な薬剤師数」は増加している（+31.7人）。



(単位：人)	前回 (A)	今回 (B)	増減 (B-A)
合計	227.0	254.4	+27.4
将来的に必要な (5年程度)	129.3	161.0	+31.7
早急に必要 (1年以内)	97.7	93.4	-4.3

(3) 薬剤師を必要とする理由

① 早急に必要とする理由（複数回答可） 病院：18施設 薬局：51施設（全体の36%）

- 前回調査時と同様に、「現状の勤務体制に余裕がない」、「育休・退職等予定あり」などが主な理由であり、特に薬局では「繁忙時に患者対応等で支障が出ている」との回答もある。
- その他の理由については、「病棟業務の拡大」、「時間外勤務の削減」、「過去の退職者の補充がまだできていない」等があった。

② 将来的に必要な理由（複数回答可） 病院：16施設 薬局：71施設（全体の46%）

- 病院において、最も多かった理由は「病棟活動を充実・拡大させるため」、次いで「育休・退職予定者の補充のため」であった。
- また、薬局においては、「在宅医療を充実・拡大させるため」が最も多い理由で、次いで「育休・退職予定者の補充のため」であった。
- 病院、薬局ともに、休業・退職予定者の補充と併せて、病棟業務又は在宅医療における業務の充実・拡大に伴う人材確保が継続して必要であると考えられる。